

シアゾファミド (案)

今般の残留基準の検討については、農薬取締法に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたことに伴い、食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

1. 概要

(1) 品目名：シアゾファミド [Cyazofamid (ISO)]

(2) 用途：殺菌剤

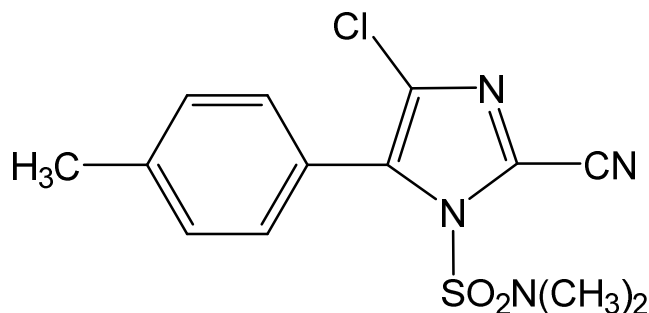
シアノイミダゾール系化合物の殺菌剤である。ミトコンドリア内膜電子伝達系複合体Ⅲの Qi サイトを阻害することにより殺菌作用を示すと考えられている。

(3) 化学名及び CAS 番号

4-Chloro-2-cyano-*N,N*-dimethyl-5-*p*-tolylimidazole-1-sulfonamide (IUPAC)

1*H*-Imidazole-1-sulfonamide, 4-chloro-2-cyano-*N,N*-dimethyl-5-(4-methylphenyl)- (CAS : No. 120116-88-3)

(4) 構造式及び物性



分子式	$C_{13}H_{13}ClN_4O_2S$
分子量	324.79
水溶解度	1.21×10^{-4} g/L (20°C, pH 5)
	1.07×10^{-4} g/L (20°C, pH 7)
	1.09×10^{-4} g/L (20°C, pH 9)
分配係数	$\log_{10}P_{ow} = 3.2$

2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用法は以下のとおり。

【作物名】となっているものについては、今回農薬取締法（昭和23年法律第82号）に基づく適用拡大申請がなされたものを示している。

(1) 国内での使用方法

① 34.5%シアゾファミドフロアブル

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアゾファミドを含む農薬の総使用回数
ばれいしょ	疫病	4000倍	100～300 L/10 a	収穫7日前まで	4回以内	散布	4回以内
		1000～2000倍	25 L/10 a				
たまねぎ	べと病	8000倍	100～300 L/10 a		3回以内		4回以内 (種子への処理は1回以内、 散布は3回以内)
だいず		4000～8000倍					
	茎疫病	4000倍					

② 9.4%シアゾファミドフロアブル

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアゾファミドを含む農薬の総使用回数
稲(箱育苗)	苗立枯病 (ピシウム菌)	1000倍	育苗箱 (30×60×3 cm、 使用土壌約5 L) 1箱当り0.5 L	は種時	1回	土壌灌注	1回
				発芽後～緑化期			
ぶどう	べと病	1000～2000倍	200～700 L/10 a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内
かんきつ	褐色腐敗病	2000倍		収穫前日まで			
いちじく 日本なし	疫病			収穫3日前まで			
小麦	褐色雪腐病	1000倍	100 L/10 a	根雪前	3回以内	無人航空機 による散布	
		250倍	25 L/10 a				
		8倍	0.8 L/10 a				
あずき	茎疫病	原液	種子重量の2%	は種前	1回	種子塗沫	4回以内 (種子への処理は1回以内、 散布は3回以内)
だいず		1000倍	100～300 L/10 a	収穫7日前まで	3回以内	散布	
だいず	べと病	原液	種子重量の 1～2%	は種前	1回	種子塗沫	
		1000～2000倍	100～300 L/10 a	収穫7日前まで	3回以内	散布	
えだまめ	茎疫病	原液	種子重量の2%	は種前	1回	種子塗沫	
	べと病	1000～2000倍	100～300 L/10 a	収穫3日前まで	3回以内	散布	

② 9.4%シアゾファミドフロアブル (つづき)

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアゾファミドを含む農薬の総使用回数
ばれいしょ	疫病	1000～2000倍	100～300 L/10 a	収穫7日前まで	4回以内	散布	4回以内
		375倍	25 L/10 a				
		600倍	40 L/10 a				
		32倍	3.2 L/10 a			無人航空機による散布	
さといも			100～300 L/10 a	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
キャベツ カリフラワー	べと病	2000倍	100～300 L/10 a	収穫3日前まで	4回以内	散布	6回以内 (育苗期の灌注は1回以内、本圃での株元灌注は1回以内、散布は4回以内)
	根こぶ病		250 mL/株	収穫14日前まで	1回	株元灌注	
はくさい		500倍	セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(30×60 cm、使用土壌約2.5～7 L)当り2 L	定植前日～当日		株元灌注	
	250 mL/株		収穫14日前まで				
	べと病 ピシウム腐敗病				4回以内		
非結球 あぶらな科 葉菜類	白さび病	2000倍	100～300 L/10 a	収穫3日前まで	3回以内	散布	
なばな類 (なばなを除く)							
なばな	根こぶ病	500倍	セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(30×60 cm、使用土壌約2.5～7 L)当り2 L	定植前日～当日	1回	灌注	4回以内 (灌注は1回以内、散布は3回以内)
ブロッコリー			250 mL/株	収穫14日前まで		株元灌注	5回以内 (育苗期の灌注は1回以内、本圃での株元灌注は1回以内、散布は3回以内)
			2000倍	100～300 L/10 a		収穫3日前まで	3回以内
きゅうり メロン	べと病	1000～2000倍	150～300 L/10 a	収穫前日まで	4回以内	散布	4回以内
ズッキーニ		1000倍	100～300 L/10 a				
すいか	褐色腐敗病	1000～2000倍		収穫前日まで			
とうがん	疫病	2000倍	150～300 L/10 a	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
かぼちゃ	べと病				3回以内		3回以内
		疫病					

② 9.4%シアゾファミドフロアブル（つづき）

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアゾファミドを含む農薬の総使用回数
トマト ミニトマト	疫病	1000～ 2000倍	150～300 L/10 a	収穫前日まで	4回以内	散布	4回以内
ピーマン とうがらし類							
なす	褐色腐敗病	2000倍	100～300 L/10 a	収穫3日前まで	3回以内	散布	3回以内
ねぎ	べと病						
わけぎ				べと病 白色疫病	収穫7日前まで	4回以内	散布
葉たまねぎ							
たまねぎ							
みょうが (花穂)	根茎腐敗病	500倍	3 L/m ²	生育期 ただし、 収穫3日前まで	3回以内	土壌灌注	4回以内 (種根茎浸漬は1 回以内、土壌灌 注は3回以内)
みょうが (茎葉)		200倍	—	植付前	1回	30分間 種根茎浸漬	
		500倍	3 L/m ²	みょうが (花穂)の収穫 3日前まで ただし、花穂を 収穫しない場合 にあつては開 花期終了まで	3回以内	土壌灌注	
しょうが		1～3 L/m ²	生育期 ただし、 収穫30日前まで				
葉しょうが		500～ 1000倍	2～3 L/m ²	生育期 ただし、 収穫3日前まで	3回以内	土壌灌注	
こんにゃく		根腐病	3 L/m ²	収穫14日前まで			
畑わさび		白さび病	2000倍	150～300 L/10 a	収穫7日前まで	2回以内	
わさび	畑育苗期						
エンサイ	100～300 L/10 a				収穫3日前まで	3回以内	3回以内
かぶ	べと病 白さび病	2000倍	100～300 L/10 a	収穫3日前まで	3回以内	散布	4回以内 (は種時の 灌注は1回以内、 散布は3回以内)
	根こぶ病			2 L/m ²			
だいこん	ワッカ症 白さび病	2000倍	100～300 L/10 a	収穫3日前まで	3回以内	散布	3回以内
はつか だいこん	ワッカ症 白さび病 べと病						

注) —：規定されていない項目

② 9.4%シアゾファミドフロアブル（つづき）

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアゾファミドを含む農薬の総使用回数
みつば	べと病	2000倍	100～300 L/10 a	収穫3日前まで ただし、 伏せ込み栽培は 伏せ込み前まで	2回以内	散布	2回以内
レタス				収穫3日前まで	3回以内		3回以内
非結球レタス							
ほうれんそう							
バジル			150～300 L/10 a	2回以内	2回以内		
おかひじき							
らっきょう	白色疫病	100～300 L/10 a	100～300 L/10 a	4回以内	4回以内		
いちご	疫病	500～ 1000倍	50 mL/株	育苗期	2回以内	株元灌注	4回以内 (育苗期は2回以 内、定植後は2回 以内)
			100 mL/株	生育期 ただし、 収穫30日前まで			
ホップ	べと病	2000倍	200～700 L/10 a	収穫14日前まで		散布	2回以内

③ 3.2%シアゾファミド・40.0%TPNフロアブル

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアゾファミドを含む農薬の総使用回数	
ぶどう	べと病 晩腐病 黒とう病	2000倍	200～700 L/10 a	収穫60日前まで	3回以内	散布	3回以内	
もも	黒星病	1000倍		収穫前日まで	2回以内		2回以内	
ネクタリン								
すもも	灰星病		収穫14日前まで					
きゅうり	べと病 うどんこ病 褐斑病 炭疽病 黒星病	1000倍	150～300 L/10 a	収穫前日まで	4回以内		散布	4回以内
メロン	べと病 つる枯病 うどんこ病			収穫3日前まで				
すいか	褐色腐敗病 炭疽病 つる枯病			収穫前日まで				
トマト	疫病 葉かび病 輪紋病			収穫前日まで				
なす	褐色腐敗病 黒枯病			100～300 L/10 a				

③ 3.2%シアゾファミド・40.0%TPNフロアブル（つづき）

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアゾファミドを含む農薬の総使用回数
ピーマン	疫病 斑点病	1000倍	100～300 L/10 a	収穫前日まで	3回以内	散布	4回以内
はくさい	べと病 白さび病 黒斑病 白斑病			収穫7日前まで	2回以内		6回以内 (育苗期の灌注は1回以内、本圃での株元灌注は1回以内、散布は4回以内)
たまねぎ	べと病 灰色かび病				4回以内		4回以内
ねぎ	べと病 黒斑病			収穫14日前まで	3回以内		3回以内
レタス	べと病 すそ枯病						

(2) 海外での使用方法

① 34.5%シアゾファミドフロアブル（米国）

作物名	適用	1回当たりの使用量	シアゾファミドの総使用量（年間）	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
にんじん	<i>Pythium ultimo</i> による病害 しみ腐病 根腐病	438 mL/ha (175 g ai/ha)	874 g ai/ha まで	収穫14日前まで	5回以内	散布

ai:active ingredient（有効成分）

② 9.4%シアゾファミドフロアブル（台湾）

作物名	適用	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
パパイヤ	疫病	2000倍	収穫12日前まで	6回以内	散布

3. 代謝試験

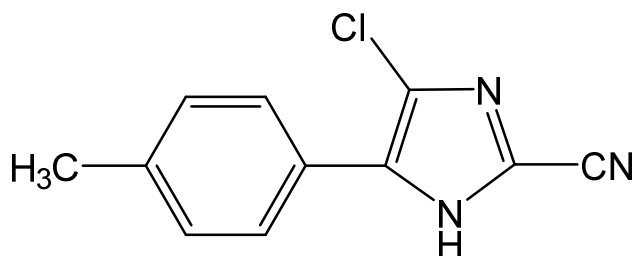
(1) 植物代謝試験

植物代謝試験が、水稻、トマト、ばれいしょ及びぶどうで実施されており、可食部で10%TRR^{注)}以上認められた代謝物はなかった。ぶどうを加工したワインでは代謝物Bが10%TRR以上認められた。

注) %TRR：総放射性残留物（TRR：Total Radioactive Residues）濃度に対する比率（%）

【代謝物略称一覧】

略称	化学名
B	4-クロロ-5- <i>p</i> -トリルイミダゾール-2-カルボニトリル



代謝物B

注) 残留試験の分析対象及び暴露評価対象となっている代謝物について構造式を明記した。

4. 作物残留試験

(1) 分析の概要

【国内】

① 分析対象物質

- ・シアゾファミド
- ・代謝物B

② 分析法の概要

i) シアゾファミド

試料からアセトニトリルで抽出し、グラファイトカーボン・PSA積層カラム又はHLBカラムを用いて精製した後、液体クロマトグラフ・タンデム型質量分析計(LC-MS/MS)で定量する。

または、試料からアセトニトリルで抽出し、*n*-ヘキサンに転溶する。フロリジルカラム、グラファイトカーボン・NH₂積層カラム及びシリカゲルカラムを用いて精製した後、紫外分光光度型検出器付き高速液体クロマトグラフ(HPLC-UV)で定量する。

ii) シアゾファミド及び代謝物B

試料からアセトン又はアセトニトリル・水(4:1)混液で抽出し、C₁₈カラム、HLBカラム又はC₁₈カラム及びグラファイトカーボン・PSA積層カラムを用いて精製した後、液体クロマトグラフ・質量分析計(LC-MS)又はLC-MS/MSで定量する。なお、代謝物Bの分析値は、換算係数1.49を用いてシアゾファミド濃度に換算した値として示した。

定量限界：シアゾファミド	0.005~0.5 mg/kg
代謝物B	0.01~0.05 mg/kg (シアゾファミド換算濃度)

【海外】

① 分析対象物質

- ・シアゾファミド
- ・代謝物B

② 分析法の概要

試料からアセトニトリル・水・酢酸（49：49：2）混液で抽出し、LC-MS/MSを用いて定量する。なお、代謝物Bの分析値は、換算係数1.49を用いてシアゾファミド濃度に換算した値として示した。

定量限界：シアゾファミド 0.01 mg/kg
代謝物B 0.01 mg/kg（シアゾファミド換算濃度）

(2) 作物残留試験結果

国内で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙1-1、海外で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙1-2及び1-3を参照。

5. ADI 及び ARfD の評価

食品安全基本法（平成15年法律第48号）第24条第1項第1号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたシアゾファミドに係る食品健康影響評価において、以下のとおり評価されている。

(1) ADI

無毒性量：17.1 mg/kg 体重/day（発がん性は認められなかった。）

（動物種） 雄ラット

（投与方法） 混餌投与

（試験の種類）慢性毒性/発がん性併合試験

（期間） 2年間

安全係数：100

ADI：0.17 mg/kg 体重/day

(2) ARfD 設定の必要なし

シアゾファミドの単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響は、認められなかったため、急性参照用量（ARfD）は設定する必要がないと判断した。

6. 諸外国における状況

JMPRにおける毒性評価が行われ、2015年にADI が設定され、ARfDは設定不要と評価されている。また、代謝物BについてARfD が設定されている。国際基準はレタス、ホップ等に設定されている。

米国、カナダ、EU、豪州及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてたまねぎ、にんじん等に、カナダにおいてぶどう、トマト等に、EUにおいてぶどう、ホップ等に、豪州においてブロッコリーに基準値が設定されている。

7. 基準値案

(1) 残留の規制対象

シアゾファミドとする。

一部の作物残留試験において、代謝物Bの分析が行われているが、代謝物Bはシアゾファミドと比較して十分に低い残留濃度であることから、残留の規制対象には代謝物Bを含めず、シアゾファミドのみとする。

(2) 基準値案

別紙2のとおりである。

(3) 暴露評価対象

シアゾファミド及び代謝物Bとする。

植物代謝試験において、ぶどうを加工したワインで代謝物Bが10%TRRを超えて認められ、代謝物Bはシアゾファミドより急性毒性が高いと評価されている。作物残留試験でほとんど認められないが、JMPRの評価において暴露評価対象をシアゾファミド及び代謝物Bとしていることを踏まえ、暴露評価対象はシアゾファミド及び代謝物Bとする。

なお、食品安全委員会は、食品健康影響評価において、農産物中の暴露評価対象物質をシアゾファミド（親化合物のみ）としている。

(4) 暴露評価

① 長期暴露評価

1日当たり摂取する農薬等の量の ADI に対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

	TMDI/ADI (%) ^{注)}
国民全体 (1歳以上)	18.6
幼小児 (1~6歳)	30.3
妊婦	18.0
高齢者 (65歳以上)	22.2

注) 各食品の平均摂取量は、平成17~19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

TMDI 試算法：基準値案×各食品の平均摂取量

<参考>

暴露評価対象がシアゾファミド及び代謝物Bであることから、代謝物Bも含めて暴露評価を実施した。

	EDI/ADI (%) ^{注)}
国民全体 (1歳以上)	6.0
幼小児 (1~6歳)	9.7
妊婦	6.0
高齢者 (65歳以上)	7.4

注) 各食品の平均摂取量は、平成17~19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

EDI 試算法：作物残留試験成績の平均値×各食品の平均摂取量

シアゾファミドの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計 (mg/kg) 注1)	各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注2) 【シアゾファミド/代謝物B】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
水稻 (玄米)	2	9.4%フロアブル	1000倍 育苗箱灌注 0.5 L/箱	1	112	圃場A : <0.02 ^{#1)}	圃場A : <0.01/-
					118	圃場B : <0.02 ^{#1)}	圃場B : <0.01/-
小麦 (玄麦)	2	9.4%フロアブル	1000倍 散布 100 L/10 a	3	239	圃場A : <0.02	圃場A : <0.01/<0.01
					187	圃場B : <0.02	圃場B : <0.01/<0.01
	2	250倍 散布 25 L/10 a	3	267	圃場A : <0.02	圃場A : <0.01/<0.01	
				255	圃場B : <0.02	圃場B : <0.01/<0.01	
2	8倍 無人ヘリ散布 0.8, 0.86~0.90 L/10 a	3	244	圃場A : <0.02	圃場A : <0.01/<0.01		
			117	圃場B : <0.02	圃場B : <0.01/<0.01		
だいず (乾燥子実)	2	9.4%フロアブル	1000倍 散布 200, 250 L/10 a	3	6, 14, 21	圃場A : 0.07(3回, 6日)	圃場A : *0.06/*<0.01(*3回, 6日)
					7, 14, 21	圃場B : 0.05(3回, 14日)	圃場B : *0.04/*<0.01(*3回, 14日)
2	原液 播種時種子塗沫 種子重量2%	1	140, 147, 154	圃場A : <0.02(1回, 140日)	圃場A : *<0.01/*<0.01(*1回, 140日)		
			116, 123, 130	圃場B : <0.02(1回, 116日)	圃場B : *<0.01/*<0.01(*1回, 116日)		
あずき (乾燥子実)	2	9.4%フロアブル	原液 播種時種子乾粉衣 種子重量2% +1000倍 散布 150, 200 L/10 a	1+3	7, 14, 21	圃場A : 0.03	圃場A : 0.02/<0.01
ばれいしょ (塊茎)	2	9.4%フロアブル	1000倍 散布 200 L/10 a	4	7, 14, 21	圃場A : <0.02	圃場A : <0.01/<0.01
					250倍 散布 25 L/10 a	4	7, 14, 21
	2	32倍 無人ヘリコプターによる散布 3.2, 3.0~3.2 L/10 a	4	3, 7, 14	圃場A : <0.02	圃場A : <0.01/<0.01	
さといも (塊茎)	3	9.4%フロアブル	2000倍 散布 180~182 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A : <0.02 ^{#1)}	圃場A : <0.01/-
						圃場B : <0.02 ^{#1)}	圃場B : <0.01/-
						圃場C : <0.02 ^{#1)}	圃場C : <0.01/-
こんにゃく (塊茎)	2	9.4%フロアブル	1000倍 株元灌注 3 L/m ²	3	14, 28, 42	圃場A : 0.04(3回, 14日) (#) ^{#2)}	圃場A : *0.03/- (*3回, 14日) (#)
					14, 30, 45	圃場B : 0.04(3回, 14日) (#) ^{#2)}	圃場B : *0.02/- (*3回, 14日) (#)
2	500倍 土壌灌注 3 L/m ²	3	14, 30, 45	圃場A : 0.10(3回, 30日)	圃場A : *0.09/0.01(*3回, 30日)		
だいこん (根)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 150~200, 200 L/10 a	3	3, 7, 14	圃場A : <0.02	圃場A : <0.01/<0.01
					圃場B : <0.02	圃場B : <0.01/<0.01	
だいこん (葉)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 150~200, 200 L/10 a	3	3, 7, 14	圃場A : 5.11	圃場A : 5.07/0.05
はつかだいこん (根)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 100 L/10 a	1	3, 7, 14	圃場A : 0.01 ^{#3)}	圃場A : 0.006/-
					圃場B : 0.02 ^{#3)}	圃場B : 0.012/-	
2	2000倍 散布 150 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : 0.06 ^{#3)}	圃場A : 0.04/-		
はつかだいこん (葉)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 100 L/10 a	1	3, 7, 14	圃場A : 3.84 ^{#4)}	圃場A : 3.4/-
					圃場B : 7.46 ^{#4)}	圃場B : 6.6/-	
2	2000倍 散布 150 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : 19.89 ^{#4)}	圃場A : *17.6/- (*3回, 7日)		
かぶ (根)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 150, 200 L/10 a	3	3, 7, 14	圃場A : 0.09	圃場A : 0.08/<0.01
					圃場B : 0.07	圃場B : 0.06/<0.01	
2	2000倍 灌注 2 L/m ² +2000倍 散布 167, 180 L/10 a	1+3	3, 7, 14	圃場A : 0.02 ^{#1)}	圃場A : 0.01/-		
かぶ (葉)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 150, 200 L/10 a	3	3, 7, 14	圃場B : 0.06 ^{#1)}	圃場B : 0.03/-
					圃場A : 14.68	圃場A : 14.6/0.08	
2	2000倍 灌注 2 L/m ² +2000倍 散布 167, 180 L/10 a	1+3	3, 7, 14	圃場B : 9.82	圃場B : 9.72/0.10		
はくさい (茎葉)	2	9.4%フロアブル	500倍 灌注 2 L/セルレイ +2000倍 散布 300 L/10 a	1+4	14, 21, 28	圃場A : 0.03(5回, 14日)	圃場A : *0.02/*<0.01(*5回, 14日)
					圃場B : 0.25(5回, 14日)	圃場B : *0.24/*<0.01(*5回, 14日)	
	2	500倍 灌注 2 L/セルレイ +2000倍 植付時株元灌注 250 mL/株 +2000倍 散布 200, 300 L/10 a	1+1+4	14, 21, 28	圃場A : 0.09(6回, 14日)	圃場A : *0.08/*<0.01(*6回, 14日)	
				圃場B : 0.33(6回, 14日)	圃場B : *0.32/*<0.01(*6回, 14日)		
2	250倍 灌注 1 L/セルレイ +2000倍 植付時株元灌注 250 mL/株 +2000倍 散布 200 L/10 a	1+1+4	3, 7, 14	圃場A : 0.11(6回, 3日) (#)	圃場A : *0.10/*<0.01(*6回, 3日) (#)		
			圃場B : 0.73(6回, 3日) (#)	圃場B : *0.72/*<0.01(*6回, 3日) (#)			
2	500倍 灌注 2 L/セルレイ +2000倍 株元灌注 250 mL/株 +2000倍 散布 187~250, 153~256 L/10 a	1+1+4	3, 7, 14, 21, 28	圃場A : 0.14 ^{#5)}	圃場A : 0.09/-		
				圃場B : 0.38 ^{#5)}	圃場B : 0.25/-		

シアゾファミドの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計 (mg/kg) 注1)	各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注2) 【シアゾファミド/代謝物B】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
キャベツ (茎葉)	2	9.4%フロアブル	500倍 灌注 2 L/セルトレイ	1	75	圃場A : <0.02	圃場A : <0.01/<0.01
					97	圃場B : <0.02	圃場B : <0.01/<0.01
キャベツ (茎葉)	2	9.4%フロアブル	250倍 灌注 1 L/セルトレイ +2000倍 植付時株元灌注 250 mL/株 +2000倍 散布 150~250, 80~200 L/10 a	1+1+4	3, 7, 14	圃場A : 0.29(6回, 3日) (#)	圃場A : *0.28/*<0.01(*6回, 3日) (#)
						圃場B : 0.17(6回, 3日) (#)	圃場B : *0.16/*<0.01(*6回, 3日) (#)
キャベツ (葉球)	2	9.4%フロアブル	500倍 灌注 2 L/セルトレイ +2000倍 株元灌注 250 mL/株 +2000倍 散布 172~272, 250 L/10 a	1+1+4	3, 7, 14, 21, 28	圃場A : 0.07 ^{#4)}	圃場A : 0.06/-
						圃場B : 0.18 ^{#4)}	圃場B : 0.16/-
こまつな (茎葉)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 150, 100 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : 9.13	圃場A : 9.10/*0.18(*3回, 7日)
						圃場B : 3.77	圃場B : 3.76/0.05
みずな (茎葉)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : 1.91	圃場A : 1.85/0.08
						圃場B : 5.03	圃場B : 4.94/0.09
チンゲンサイ (茎葉)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : 1.06	圃場A : 1.02/0.04
						圃場B : 0.78	圃場B : 0.76/0.02
カリフラワー (花蕾)	2	9.4%フロアブル	500倍 灌注 2 L/セルトレイ +2000倍 株元灌注 250 mL +2000倍 散布 187~290, 281~297 L/10 a	1+1+4	3, 7, 14, 21, 28	圃場A : 0.07 ^{#4)}	圃場A : 0.06/-
						圃場B : 0.07 ^{#4)}	圃場B : 0.06/-
ブロッコリー (花蕾)	2	9.4%フロアブル	500倍 灌注 2 L/セルトレイ +2000倍 散布 200 L/10 a	1+3	3, 7, 14	圃場A : 0.25	圃場A : 0.24/0.02
						圃場B : 0.41	圃場B : 0.40/0.02
	3		500倍灌注 2 L/セルトレイ +2000倍株元灌注 250 mL +2000倍 散布 250~253, 286 L/10 a	1+1+3	3, 7, 14	圃場A : 0.84 ^{#4)}	圃場A : 0.74/-
						圃場B : 0.99 ^{#4)}	圃場B : 0.88/-
						圃場C : 0.10 ^{#4)}	圃場C : 0.09/-
なばな (茎葉・花蕾)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 400, 200 L/10 a	3	3, 7, 14	圃場A : 0.02 ^{#4)}	圃場A : 0.02/- (#)
						圃場B : 1.31 ^{#4)}	圃場B : 1.16/-
なばな (花蕾)	2	9.4%フロアブル	500倍 灌注 2 L/セルトレイ +2000倍 散布 300 L/10 a	1+3	1, 3, 7	圃場A : 0.70 ^{#4)}	圃場A : 0.62/-
						圃場B : 0.95 ^{#4)}	圃場B : 0.84/-
はたけな (葉菜)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 300 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 5.76 ^{#4)}	圃場A : 5.1/-
						圃場B : 14.13 ^{#4)}	圃場B : 12.5/-
はたけな (花蕾)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 300 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A : 1.47 ^{#4)}	圃場A : 1.3/-
						圃場B : 1.70 ^{#4)}	圃場B : 1.5/-
レタス (茎葉)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	3	3, 7, 14	圃場A : 2.77	圃場A : 2.76/<0.01
						圃場B : 0.11	圃場B : 0.10/<0.01
サラダ菜 (茎葉)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 150, 200 L/10 a	3	3, 7, 14	圃場A : 5.69 ^{#6)}	圃場A : 5.17/-
						圃場B : 2.68 ^{#6)}	圃場B : 2.44/-
リーフレタス (茎葉)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 200, 130 L/10 a	3	3, 7, 14	圃場A : 1.39 ^{#6)}	圃場A : 1.26/-
						圃場B : 2.40 ^{#6)}	圃場B : 2.18/-
たまねぎ (鱗茎)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	4	7, 14, 21	圃場A : <0.02	圃場A : <0.01/<0.01
						圃場B : <0.02	圃場B : <0.01/<0.01
ねぎ (茎葉)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	4	3, 7, 14	圃場A : 0.37	圃場A : 0.36/0.02
						圃場B : 0.89(4回, 7日)	圃場B : *0.88/*0.01(*4回, 7日)
わけぎ (茎葉)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	3	3, 7, 14	圃場A : 0.80 ^{#7)}	圃場A : 0.75/-
						圃場B : 1.74 ^{#7)}	圃場B : 1.64/-
葉たまねぎ (葉及び鱗茎)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 150, 120~150 L/10 a	4	3, 7, 14	圃場A : 1.92 ^{#3)}	圃場A : 1.28/-
						圃場B : 1.32 ^{#3)}	圃場B : 0.88/-
らっきょう (鱗茎)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 200, 300 L/10 a	4	3, 7, 14	圃場A : <0.02 ^{#1)}	圃場A : <0.01/-
						圃場B : <0.02 ^{#1)}	圃場B : <0.01/-
みつば (茎葉)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A : 2.31 ^{#4)}	圃場A : 2.04/-
						圃場B : 3.91 ^{#4)}	圃場B : 3.46/-
ミニトマト (果実)	2	9.4%フロアブル	1000倍 散布 200, 300 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A : 1.01 ^{#8)}	圃場A : 1.00/0.01
						圃場B : 0.73 ^{#8)}	圃場B : 0.72/<0.01
トマト (果実)	2	9.4%フロアブル	1000倍 散布 200 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A : 0.19	圃場A : 0.18/<0.01
						圃場B : 0.53	圃場B : 0.52/0.01
ピーマン (果実)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A : 0.34	圃場A : 0.33/0.01
						圃場B : 0.23	圃場B : 0.22/<0.01
なす (果実)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A : 0.12	圃場A : 0.11/<0.01
						圃場B : 0.11	圃場B : 0.10/<0.01
とうがらし (果実)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A : 0.46 ^{#9)}	圃場A : 0.37/-
						圃場B : 1.00 ^{#9)}	圃場B : 0.80/-
	2		2000倍 散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A : 0.85 ^{#9)}	圃場A : 0.68/-
						圃場B : 0.30 ^{#9)}	圃場B : 0.24/-
ししとう (果実)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A : 0.38 ^{#9)}	圃場A : 0.30/-
						圃場B : 0.58 ^{#9)}	圃場B : 0.46/-

シアゾファミドの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計 (mg/kg) 注1)	各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注2) 【シアゾファミド/代謝物B】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
きゅうり (果実)	2	9.4%フロアブル	1000倍 散布 200 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A: 0.09 圃場B: 0.24	圃場A: 0.08/0.01 圃場B: 0.23/<0.01
かぼちゃ (果実)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 300 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A: 0.07 圃場B: 0.18	圃場A: 0.06/<0.01 圃場B: 0.17/<0.01
すいか (果肉)	2	9.4%フロアブル	1000倍 散布 200, 217.7 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A: <0.02 圃場B: <0.02	圃場A: <0.01/<0.01 圃場B: <0.01/<0.01
	3		1000倍 散布	4	1, 3, 7	圃場A: <0.02 ^{#10)} 圃場B: <0.02 ^{#10)} 圃場C: <0.02 ^{#10)}	圃場A: <0.01/- 圃場B: <0.01/- 圃場C: <0.01/-
すいか (果皮)	3	9.4%フロアブル	1000倍 散布	4	1, 3, 7	圃場A: 1.40 ^{#9)} 圃場B: 0.73 ^{#9)} 圃場C: 1.64 ^{#9)}	圃場A: 1.12/- 圃場B: 0.58/- (4回, 3日) 圃場C: 1.31/- (4回, 3日)
すいか (果実)	3	9.4%フロアブル	1000倍 散布	4	1, 3, 7	圃場A: 0.28 ^{#9)} 圃場B: 0.14 ^{#9)} 圃場C: 0.34 ^{#9)}	圃場A: 0.22 ^{注3)} /- 圃場B: 0.11 ^{注3)} /- (4回, 3日) 圃場C: 0.27 ^{注3)} /- (4回, 3日)
メロン (果肉)	2	9.4%フロアブル	1000倍 散布 200 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A: <0.02 圃場B: <0.02	圃場A: <0.01/<0.01 圃場B: <0.01/<0.01
	3		1000倍 散布	4	1, 3, 7	圃場A: <0.02 ^{#11)} 圃場B: <0.02 ^{#11)} 圃場C: <0.02 ^{#11)}	圃場A: <0.01/- 圃場B: <0.01/- 圃場C: <0.01/-
メロン (果皮)	3	9.4%フロアブル	1000倍 散布	4	1, 3, 7	圃場A: 3.70 ^{#9)} 圃場B: 2.45 ^{#9)} 圃場C: 4.38 ^{#9)}	圃場A: 2.96/- 圃場B: 1.96/- 圃場C: 3.50/-
メロン (果実)	3	9.4%フロアブル	1000倍 散布	4	1, 3, 7	圃場A: 0.31 ^{#9)} 圃場B: 0.21 ^{#9)} 圃場C: 0.40 ^{#9)}	圃場A: 0.25 ^{注3)} /- 圃場B: 0.17 ^{注3)} /- 圃場C: 0.32 ^{注3)} /-
とうがん (果実)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 250 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A: 0.03 ^{#9)} 圃場B: 0.03 ^{#9)}	圃場A: 0.02/- 圃場B: 0.02/-
ほうれんそう (茎葉)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 150, 134.7 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A: 16.26 圃場B: 7.20 (3回, 7日)	圃場A: 16.2/0.44 圃場B: *7.17/0.16 (*3回, 7日)
しょうが (塊茎)	2	9.4%フロアブル	500倍 土壌灌注 3 L/m ²	3	30, 45, 60	圃場A: 0.24 (3回, 45日) 圃場B: 0.05	圃場A: *0.23/<0.01 (*3回, 45日) 圃場B: 0.04/<0.01
葉しょうが (根茎・茎)	2	9.4%フロアブル	500倍 土壌灌注 3 L/m ²	3	3, 14, 30, 45	圃場A: 2.07 ^{#3)} 圃場B: 1.49 ^{#3)}	圃場A: 1.38/- 圃場B: 0.99/-
えだまめ (さや)	2	9.4%フロアブル	1000倍 散布 150, 176~200 L/10 a	3	3, 7, 14	圃場A: 2.36 (3回, 7日) 圃場B: 0.41	圃場A: *2.34/<0.05 (*3回, 7日) 圃場B: 0.40/<0.05
えだまめ (さや花梗を除去したもの)	2	9.4%フロアブル	原液 播種時種子塗沫 種子重量2%	1	72, 79, 86 88, 95, 102	圃場A: <0.02 (1回, 72日) 圃場B: <0.02	圃場A: *<0.01/*<0.01 (*1回, 72日) 圃場B: *<0.01/*<0.01 (*1回, 88日)
おかひじき (茎葉)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A: 4.97 ^{#4)} 圃場B: 4.29 ^{#4)}	圃場A: 4.4/- 圃場B: 3.8/-
エンサイ (茎葉)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 300 L/10 a	3	3, 7, 14	圃場A: 3.07 ^{#4)} 圃場B: 0.54 ^{#4)}	圃場A: 2.72/- 圃場B: 0.48/-
温州みかん (外果皮)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 500 L/10 a	3	1, 7, 14	圃場A: 3.42 (3回, 7日) 圃場B: 1.52	圃場A: *3.38/0.12 (*3回, 7日) 圃場B: 1.51/<0.05
温州みかん (果肉)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 500 L/10 a	3	1, 7, 14	圃場A: 0.26 圃場B: 0.06	圃場A: 0.25/<0.01 圃場B: 0.05/<0.01
温州みかん (果実)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 500 L/10 a	3	1, 7, 14	圃場A: 0.87 (3回, 7日) 圃場B: 0.35	圃場A: *0.85/0.03 (*3回, 7日) 注4) 圃場B: 0.34/0.02 注4)
夏みかん (果実)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 500 L/10 a	3, 4	1, 7, 14	圃場A: 0.55 (4回, 1日) 圃場B: 0.48 (3回, 7日)	圃場A: *0.54/*0.02 (*4回, 1日) (#) 圃場B: *0.47/*0.02 (*3回, 7日、**3回, 14日)
すだち (果実)	1	9.4%フロアブル	2000倍 散布 500 L/10 a	3	1, 7, 14	圃場A: 1.07	圃場A: 1.06/<0.01
かぼす (果実)	1	9.4%フロアブル	2000倍 散布 640 L/10 a	3	1, 7, 13	圃場A: 0.36	圃場A: 0.35/<0.01
レモン (果実)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 300 L/10 a	3	1, 7, 14	圃場A: 2.06 圃場B: 0.36	圃場A: 2.03/0.03 圃場B: 0.33/*0.04 (*3回, 14日)
なし (果実(果梗を除去したもの))	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 470, 411 L/10 a	3	3, 7, 14, 21	圃場A: 0.16 ^{#12)} 圃場B: 0.23 ^{#12)}	圃場A: 0.14/- 圃場B: *0.20/- (*3回, 7日)
なし (果実(花おち、しん及び果梗の基部を除去したもの))	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 470, 411 L/10 a	3	3, 7, 14, 21	圃場A: 0.17 ^{#12)} 圃場B: 0.23 ^{#12)}	圃場A: 0.15/- 圃場B: *0.20/- (*3回, 7日)

シアゾファミドの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計 (mg/kg) 注1)	各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注2) 【シアゾファミド/代謝物B】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
もも (果肉)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 400, 500 L/10 a	2	1, 7, 14	圃場A : 0.02(2回, 1日) (#) 圃場B : 0.09(2回, 1日) (#)	圃場A : *0.01/*0.01(*2回, 1日) (#) 圃場B : *0.08/*<0.01(*2回, 1日) (#)
もも (果皮)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 400, 500 L/10 a	2	1, 7, 14	圃場A : 2.10(2回, 1日) (#) 圃場B : 4.19(2回, 1日) (#)	圃場A : *2.09/*0.04(*2回, 1日) (#) 圃場B : *4.09/*0.10(*2回, 1日) (#)
もも (果実)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 400, 500 L/10 a	2	1, 7, 14	圃場A : 0.33(2回, 1日) (#) 圃場B : 0.64(2回, 1日) (#)	圃場A : *0.32/*0.01注5)(*2回, 1日) (#) 圃場B : *0.62/*0.02注5)(*2回, 1日) (#)
ネクタリン (果実)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 300, 400 L/10 a	1, 2	45, 60 1, 7, 14	圃場A : 0.19(#) ^{#13)} 圃場B : 0.33(#) ^{#13)}	圃場A : *0.18/-(*2回, 1日) (#) 圃場B : *0.32/-(*2回, 1日) (#)
すもも (果実)	2	3.2%フロアブル	1000倍 散布 300, 700 L/10 a	1, 2	14, 21, 28, 45, 59	圃場A : 0.05 ^{#14)} 圃場B : 0.01 ^{#14)}	圃場A : 0.05/-(圃場B : 0.01/-(
いちご (果実)	2	9.4%フロアブル	500倍 灌注 50 mL/ポット +500倍 灌注 100 mL/株	2+2	30, 37, 44	圃場A : 0.30 圃場B : <0.02	圃場A : 0.29/0.01 圃場B : <0.01/<0.01
ぶどう (小粒) (果実)	2	9.4%フロアブル	1000倍 散布 300 L/10 a	3	14, 21, 28	圃場A : 6.43(3回, 21日) 圃場B : 1.91(3回, 21日)	圃場A : *6.36/0.07(*3回, 21日) 圃場B : *1.90/0.02(*3回, 21日)
ぶどう (大粒) (果実)	2	9.4%フロアブル	1000倍 散布 300 L/10 a	3	14, 21, 28	圃場A : 0.54(3回, 21日) 圃場B : 1.27	圃場A : *0.53/0.01(*3回, 21日) 圃場B : 1.26/0.01
いちじく (果実)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 300 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : 0.23 ^{#9)} 圃場B : 0.50 ^{#9)}	圃場A : 0.18/-(圃場B : 0.40/-(
ホップ (乾花)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 500 L/10 a	2	13, 20, 27	圃場A : 7.12 ^{#15)} 圃場B : 6.38 ^{#15)}	圃場A : 3.56/-((2回, 13日) 圃場B : 3.19/-((2回, 13日)
畑わさび (茎葉)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 300 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A : 9.44 ^{#16)} 圃場B : 4.59 ^{#16)}	圃場A : 6.29/-(圃場B : 3.06/-(
畑わさび (根茎)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 300 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A : 1.05 ^{#17)} 圃場B : 0.74 ^{#17)}	圃場A : 0.70/-(圃場B : 0.49/-(
畑わさび (花、花茎及び葉)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 200, 300 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A : 3.63 圃場B : 10.04	圃場A : 3.58/<0.05 圃場B : 9.96/0.08
みょうが (花穂)	2	9.4%フロアブル	500倍 土壌灌注 3 L/m ²	3	3, 7, 14	圃場A : 0.90 圃場B : 3.51	圃場A : 0.89/0.02 圃場B : 3.50/0.07
	2		200倍 30分種根茎浸漬処理 +500倍 土壌灌注 3 L/m ²	1+3	3, 7, 14	圃場A : 12.36 ^{#1)} 圃場B : 2.20 ^{#1)}	圃場A : 6.18/-(圃場B : 1.10/-(
バジル (茎葉)	2	9.4%フロアブル	2000倍 散布 162~199, 200 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A : 8.06 ^{#4)} 圃場B : 9.13 ^{#4)}	圃場A : 7.13/-(圃場B : 8.08/-(

- : 分析せず

(#)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。

注1) シアゾファミド及び代謝物Bの合計濃度 (シアゾファミドに換算した値) を示した。代謝物の測定値がない農作物は以下の方法で総残留濃度を算出した。

- #1) 参照可能な補正係数が得られなかったため、作物残留試験成績で得られた補正係数のうち最大値の2.0をシアゾファミドの濃度に乗じて総残留濃度を算出した。
 #2) こんにゃくの作物残留試験成績 (PHI : 14日) より算出した補正係数1.20をシアゾファミドの濃度に乗じて総残留濃度を算出した。
 #3) かぶ(根)の作物残留試験成績 (PHI : 3日) より算出した補正係数1.50をシアゾファミドの濃度に乗じて総残留濃度を算出した。
 #4) キャベツの作物残留試験成績 (PHI : 3日) より算出した補正係数1.13をシアゾファミドの濃度に乗じて総残留濃度を算出した。
 #5) はくさいの作物残留試験成績 (PHI : 3日) より算出した補正係数1.50をシアゾファミドの濃度に乗じて総残留濃度を算出した。
 #6) レタスの作物残留試験成績 (PHI : 3日) より算出した補正係数1.10をシアゾファミドの濃度に乗じて総残留濃度を算出した。
 #7) ねぎの作物残留試験成績 (PHI : 3日) より算出した補正係数1.06をシアゾファミドの濃度に乗じて総残留濃度を算出した。
 #8) ミントマトの作物残留試験成績 (PHI : 1日) より算出した補正係数1.01をシアゾファミドの濃度に乗じて総残留濃度を算出した。
 #9) かぼちゃの作物残留試験成績 (PHI : 1日) より算出した補正係数1.25をシアゾファミドの濃度に乗じて総残留濃度を算出した。
 #10) すいか(果肉)の作物残留試験成績 (PHI : 1日) より代謝物Bの残留濃度を定量限界未満とした。
 #11) メロン(果肉)の作物残留試験成績 (PHI : 1日) より代謝物Bの残留濃度を定量限界未満とした。
 #12) みかん(果実)の作物残留試験成績 (PHI : 7日) より算出した補正係数1.13をシアゾファミドの濃度に乗じて総残留濃度を算出した。
 #13) もも(果実)の作物残留試験成績 (PHI : 1日) より算出した補正係数1.03をシアゾファミドの濃度に乗じて総残留濃度を算出した。
 #14) もも(果実)の作物残留試験成績 (PHI : 14日) より算出した補正係数1.06をシアゾファミドの濃度に乗じて総残留濃度を算出した。
 #15) はくさいの作物残留試験成績 (PHI : 14日) より算出した補正係数2.0をシアゾファミドの濃度に乗じて総残留濃度を算出した。
 #16) はくさいの作物残留試験成績 (PHI : 7日) より算出した補正係数1.50をシアゾファミドの濃度に乗じて総残留濃度を算出した。
 #17) かぶ(根)の作物残留試験成績 (PHI : 7日) より算出した補正係数1.50をシアゾファミドの濃度に乗じて総残留濃度を算出した。

注2) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験 (いわゆる最大使用条件下の作物残留試験) を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

代謝物Bの残留濃度は、シアゾファミド濃度に換算した値で示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について () 内に記載した。

注3) 果肉及び果皮の重量比から果実全体の残留濃度を算出した。

注4) 果肉及び果皮の重量割合が不明のため、過去の作物残留試験等のデータから、それぞれの割合を果肉80%及び果皮20%として果実全体の残留濃度を算出した。

注5) 果肉、果皮及び種子の重量割合が不明のため、過去の作物残留試験等のデータから、それぞれの割合を果肉77%、果皮15%及び種子8%として果実全体の残留濃度を算出した。

シアゾファミドの作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計 (mg/kg) ^{注1)}	各化合物の残留濃度 (mg/kg) ^{注2)} 【シアゾファミド/代謝物B】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
にんじん (根部)	1	34.5%フロアブル	総使用量 867 g ai/ha 散布	5	15	圃場A : <0.02	圃場A : <0.01/<0.01
	1	34.5%フロアブル	総使用量 853 g ai/ha 散布	5	15	圃場A : <0.02	圃場A : <0.01/<0.01
	1	34.5%フロアブル	総使用量 884 g ai/ha 散布	5	14	圃場A : 0.033	圃場A : 0.023/<0.01
	1	34.5%フロアブル	総使用量 882 g ai/ha 散布	5	15	圃場A : <0.02	圃場A : <0.01/<0.01
	1	34.5%フロアブル	総使用量 874 g ai/ha 散布	5	14	圃場A : 0.037	圃場A : 0.027/<0.01
	1	34.5%フロアブル	総使用量 891 g ai/ha 散布	5	16	圃場A : <0.02	圃場A : <0.01/<0.01
	1	34.5%フロアブル	総使用量 877 g ai/ha 散布	5	16	圃場A : <0.02	圃場A : <0.01/<0.01
	1	34.5%フロアブル	総使用量 897 g ai/ha 散布	5	14	圃場A : <0.02	圃場A : <0.01/<0.01
	1	34.5%フロアブル	総使用量 874 g ai/ha 散布	5	13	圃場A : 0.050	圃場A : 0.040/<0.01
	1	34.5%フロアブル	総使用量 876 g ai/ha 散布	5	13	圃場A : 0.045	圃場A : 0.035/<0.01
	1	34.5%フロアブル	総使用量 905 g ai/ha 散布	5	14	圃場A : 0.036	圃場A : 0.026/<0.01
	1	34.5%フロアブル	総使用量 875 g ai/ha 散布	5	14	圃場A : 0.055	圃場A : 0.045/<0.01
	1	34.5%フロアブル	総使用量 886 g ai/ha 散布	5	14	圃場A : 0.043	圃場A : 0.033/<0.01
	1	34.5%フロアブル	総使用量 876 g ai/ha 散布	5	14	圃場A : <0.02	圃場A : <0.01/<0.01
	1	34.5%フロアブル	総使用量 876 g ai/ha 散布	5	14	圃場A : <0.02	圃場A : <0.01/<0.01
	1	34.5%フロアブル	総使用量 867 g ai/ha 散布	5	13	圃場A : 0.040	圃場A : 0.030/<0.01
	1	34.5%フロアブル	総使用量 876 g ai/ha 散布	5	15	圃場A : <0.02	圃場A : <0.01/<0.01
	1	34.5%フロアブル	総使用量 895 g ai/ha 散布	5	15	圃場A : <0.02	圃場A : <0.01/<0.01

注1) シアゾファミド及び代謝物Bの合計濃度(シアゾファミドに換算した値)を示した。

注2) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験(いわゆる最大使用条件下の作物残留試験)を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

代謝物Bの残留濃度は、シアゾファミド濃度に換算した値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について()内に記載した。

シアゾファミドの作物残留試験一覧表 (台湾)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計 (mg/kg) ^{注1)}	各化合物の残留濃度 (mg/kg) ^{注2)} 【シアゾファミド/代謝物B】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
パパイヤ (果実)	1	9.4%フロアブル	2000倍 散布	4	12	圃場A : 0.12 ^{#)}	圃場A : 0.10/-

注1) シアゾファミド及び代謝物Bの合計濃度(シアゾファミドに換算した値)を示した。代謝物の測定値がない農作物は以下の方法で総残留濃度を算出した。

#) みかん(果実)の作物残留試験成績 (PHI : 14日) より算出した補正係数1.15をシアゾファミドの濃度に乗じて総残留濃度を算出した。

注2) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験(いわゆる最大使用条件下の作物残留試験)を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。
表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付している。

食品名	基準値 案※1 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値※1 ppm	
米(玄米をいう。)	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01(¥)
小麦	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01(¥)
大豆	0.3	0.3	○			0.04,0.06(¥)
小豆類	0.1	0.1	○			0.02,0.02(¥)
ばれいしょ	0.05	0.05	○	0.01		<0.01,<0.01(¥)
さといも類(やつかしらを含む。)	0.01		申			<0.01,<0.01,<0.01
こんにゃくいも	0.3	0.3	○			<0.01,0.09(¥)
だいこん類(ラディッシュを含む。)	0.3	0.3	○			0.04,0.09(¥)(はつかだいこんの根)
だいこん類(ラディッシュを含む。)	25	25	○	15		3.9,17.6(¥)(はつかだいこんの葉)
かぶ類の根	0.3	0.3	○			0.06,0.08(¥)
かぶ類の葉	20	20	○	15		9.72,14.6(¥)
クレソン	15	10		15		
はくさい	15	15	○	15		
キャベツ	2	2	○	1.5		
芽キャベツ	2	2		1.5		
ケール	15	15	○	15		
こまつな	15	15	○	15		
きょうな	15	15	○	15		
チンゲンサイ	15	15	○	15		
カリフラワー	2	2	○	1.5		
ブロッコリー	2	2	○	1.5		
その他のあぶらな科野菜	20	20	○	15		5.1,12.5(¥)(はたけな)
チコリ	10	10		10		
エンダイブ	10	10		10		
しゅんぎく	10	10		10		
レタス(サラダ菜及びちしやを含む。)	10	10	○	10		
その他のきく科野菜	10	10		10		
たまねぎ	2	2	○	1.5		
ねぎ(リーキを含む。)	6	2	○	6		
にんにく	2	2		1.5		
にら	6			6		
わけぎ	6	5	○	6		
その他のゆり科野菜	10	3	○	10		
にんじん	0.09	0.09			0.09 米国	【<0.01~0.045(n=18)(米国)】
みつば	10	10	○	10		
トマト	2	2	○	0.2		0.72,1.00(¥)(ミニトマト)
ピーマン	1	1	○	0.4		0.22,0.33(¥)
なす	0.5	0.5	○	0.2		0.10,0.11(¥)
その他のなす科野菜	10	10	○	10		
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.7	0.7	○	0.09		0.08,0.23(¥)
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.7	0.7	○	0.09		(きゅうり参照)
しろりり	0.1	0.1		0.09		※2
すいか		0.05	○			
すいか(果皮を含む。)	0.6		○	0.09		0.11,0.22,0.27
メロン類果実		0.05	○			
メロン類果実(果皮を含む。)	0.8		○	0.09		0.17,0.25,0.32
まくわうり		0.1				
まくわうり(果皮を含む。)	0.1		○	0.09		※2
その他のうり科野菜	10	10	○	10		

食品名	基準値 案※1 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値※1 ppm	
ほうれんそう	25	25	○	10		7.17,16.2(¥)
しょうが	3	3	○			0.99,1.38(¥)(葉しょうが)
未成熟いんげん	0.4	0.4		0.4		
えだまめ	5	5	○			0.40,2.34(¥)
その他の野菜	10	10	○	10		
みかん	2	0.7	○			
みかん(外果皮を含む。)	2		○			0.34,0.85(¥)
なつみかんの果実全体	2	2	○			0.47,0.54(＃)(¥)
レモン	5	5	○			0.33,2.03(¥)
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	5	5	○			(レモン参照)
グレープフルーツ	5	5	○			(レモン参照)
ライム	5	5	○			(レモン参照)
その他のかんきつ類果実	5	5	○			(レモン参照)
日本なし	0.5	0.5	○			0.14,0.20(¥)
もも	2	0.3	○			
もも(果皮及び種子を含む。)	2		○			0.32,0.62(＃)(¥)
ネクタリン	1	1	○			0.18,0.32(＃)(¥)
すもも(プルーンを含む。)	0.2	0.2	○			0.01,0.05(¥)
いちご	0.7	0.7	○			<0.01,0.29(¥)
ぶどう	10	10	○	1.5		1.90,6.36
パパイヤ	0.5	0.5			0.5 台湾	【0.10(台湾)】
その他の果実	1	1	○			0.18,0.40(¥)(いちじく)
ホップ	15	15	○	15		
その他のスパイス	10	10	○			1.51,3.38(¥)(みかんの果皮)
その他のハーブ	15	15	○	15		

申請(国内における登録、承認等の申請、インポートランス申請)以外の理由により本基準(暫定基準以外の基準)を見直す基準値案については、太枠線で囲んで示した。

食品区分を別途新設すること等に伴い、食品区分を削除したものについては、斜線で示した。

「登録有無」の欄に「○」の記載があるものは、国内で農薬等としての使用が認められていることを示している。

「登録有無」の欄に「申」の記載があるものは、国内で農薬の登録申請等の基準値設定依頼がなされたものであることを示している。

(＃)これらの作物残留試験は、登録又は申請の適用の範囲内で試験が行われていない。

(¥)作物残留試験結果の最大値を基準値設定の根拠とした。

※1) 国内の規制対象はシアゾファミドのみであるが、米国の規制対象はシアゾファミド及び代謝物B(4-クロロ-5-p-トリルイミダゾール-2-カルボニトリル)をシアゾファミドに換算したものの和である。該当食品については、作物残留試験結果から代謝物Bの影響はないものと考えられるため米国の基準値をそのまま参照する。

※2) 海外において基準値が設定されていることを考慮し、現行の基準値を維持することとする。

シアゾファミドの推定摂取量 (単位: µg/人/day)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) TMDI	国民全体 (1歳以上) EDI	幼児 (1~6歳) TMDI	幼児 (1~6歳) EDI	妊婦 TMDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) TMDI	高齢者 (65歳以上) EDI
米(玄米をいう。)	0.05	0.02	8.2	3.3	4.3	1.7	5.3	2.1	9.0	3.6
小麦	0.05	0.02	3.0	1.2	2.2	0.9	3.5	1.4	2.5	1.0
大豆	0.3	0.06	11.7	2.3	6.1	1.2	9.4	1.9	13.8	2.8
小豆類	0.1	0.03	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.4	0.1
ばれいしょ	0.05	0.02	1.9	0.8	1.7	0.7	2.1	0.8	1.8	0.7
さといも類(やつがしらを含む。)	0.01	0.02	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2
こんにやくいも	0.3	0.06	0.4	0.1	0.1	0.0	0.2	0.0	0.4	0.1
だいこん類(ラディッシュを含む。)	0.3	0.1	9.9	3.3	3.4	1.1	6.2	2.1	13.7	4.6
だいこん類(ラディッシュを含む。)	25	12.15	42.5	20.7	15.0	7.3	77.5	37.7	70.0	34.0
かぶ類の根	0.3	0.08	0.8	0.2	0.2	0.1	0.0	0.0	1.5	0.4
かぶ類の葉	20	12.25	6.0	3.7	2.0	1.2	2.0	1.2	12.0	7.4
クレソン	15	3.7	1.5	0.4	1.5	0.4	1.5	0.4	1.5	0.4
はくさい	15	3.7	265.5	65.5	76.5	18.9	249.0	61.4	324.0	79.9
キャベツ	2	0.32	48.2	7.7	23.2	3.7	38.0	6.1	47.6	7.6
芽キャベツ	2	0.32	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0
ケール	15	3.7	3.0	0.7	1.5	0.4	1.5	0.4	3.0	0.7
こまつな	15	3.7	75.0	18.5	27.0	6.7	96.0	23.7	96.0	23.7
きょうな	15	3.7	33.0	8.1	6.0	1.5	21.0	5.2	40.5	10.0
チンゲンサイ	15	3.7	27.0	6.7	10.5	2.6	27.0	6.7	28.5	7.0
カリフラワー	2	0.32	1.0	0.2	0.4	0.1	0.2	0.0	1.0	0.2
ブロッコリー	2	0.32	10.4	1.7	6.6	1.1	11.0	1.8	11.4	1.8
その他のあぶらな科野菜	20	9.945	68.0	33.8	12.0	6.0	16.0	8.0	96.0	47.7
チコリ	10	3.2	1.0	0.3	1.0	0.3	1.0	0.3	1.0	0.3
エンダイブ	10	3.2	1.0	0.3	1.0	0.3	1.0	0.3	1.0	0.3
しゅんぎく	10	3.2	15.0	4.8	3.0	1.0	26.0	8.3	25.0	8.0
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)	10	3.2	96.0	30.7	44.0	14.1	114.0	36.5	92.0	29.4
その他のさく科野菜	10	3.2	15.0	4.8	1.0	0.3	6.0	1.9	26.0	8.3
たまねぎ	2	0.062	62.4	1.9	45.2	1.4	70.6	2.2	55.6	1.7
ねぎ(リーギを含む。)	6	1.2	56.4	11.3	22.2	4.4	40.8	8.2	64.2	12.8
にんにく	2	0.062	0.8	0.0	0.2	0.0	2.0	0.1	1.0	0.0
にら	6	1.2	12.0	2.4	5.4	1.1	10.8	2.2	12.6	2.5
わけぎ	6	1.2	1.2	0.2	0.6	0.1	0.6	0.1	1.2	0.2
その他のゆり科野菜	10	3.2	6.0	1.9	1.0	0.3	2.0	0.6	12.0	3.8
にんじん	0.09	0.030	1.7	0.6	1.3	0.4	2.0	0.7	1.7	0.6
みつば	10	3.2	4.0	1.3	1.0	0.3	1.0	0.3	5.0	1.6
トマト	2	0.87	64.2	27.9	38.0	16.5	64.0	27.8	73.2	31.8
ピーマン	1	0.285	4.8	1.4	2.2	0.6	7.6	2.2	4.9	1.4
なす	0.5	0.115	6.0	1.4	1.1	0.2	5.0	1.2	8.6	2.0
その他のなす科野菜	10	3.2	11.0	3.5	1.0	0.3	12.0	3.8	12.0	3.8
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.7	0.165	14.5	3.4	6.7	1.6	9.9	2.3	17.9	4.2
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.7	0.165	6.5	1.5	2.6	0.6	5.5	1.3	9.1	2.1
しろうり	0.1	0.125	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1
すいか(果皮を含む。)	0.6	0.253	4.6	1.9	3.3	1.4	8.6	3.6	6.8	2.9
メロン類果実(果皮を含む。)	0.8	0.307	2.8	1.1	2.2	0.8	3.5	1.3	3.4	1.3
まくわうり(果皮を含む。)	0.1	0.125	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1
その他のうり科野菜	10	3.2	27.0	8.6	12.0	3.8	6.0	1.9	34.0	10.9
ほうれんそう	25	11.73	320.0	150.1	147.5	69.2	355.0	166.6	435.0	204.1
しょうが	3	1.78	4.5	2.7	0.9	0.5	3.3	2.0	5.1	3.0
未成熟いんげん	0.4	0.125	1.0	0.3	0.4	0.1	0.0	0.0	1.3	0.4
えだまめ	5	1.385	8.5	2.4	5.0	1.4	3.0	0.8	13.5	3.7
その他の野菜	10	3.2	134.0	42.9	63.0	20.2	101.0	32.3	141.0	45.1
みかん(外果皮を含む。)	2	0.61	35.6	10.9	32.8	10.0	1.2	0.4	52.4	16.0
なつみかんの果実全体	2	0.515	2.6	0.7	1.4	0.4	9.6	2.5	4.2	1.1
レモン	5	1.21	2.5	0.6	0.5	0.1	1.0	0.2	3.0	0.7
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	5	1.21	35.0	8.5	73.0	17.7	62.5	15.1	21.0	5.1
グレープフルーツ	5	1.21	21.0	5.1	11.5	2.8	44.5	10.8	17.5	4.2
ライム	5	1.21	0.5	0.1	0.5	0.1	0.5	0.1	0.5	0.1
その他のかんきつ類果実	5	1.21	29.5	7.1	13.5	3.3	12.5	3.0	47.5	11.5
日本なし	0.5	0.195	3.2	1.2	1.7	0.7	4.6	1.8	3.9	1.5
もも(果皮及び種子を含む。)	2	0.485	6.8	1.6	7.4	1.8	10.6	2.6	8.8	2.1
ネクタリン	1	0.26	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
すもも(プルーンを含む。)	0.2	0.03	0.2	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0
いちご	0.7	0.16	3.8	0.9	5.5	1.2	3.6	0.8	4.1	0.9
ぶどう	10	4.17	87.0	36.3	82.0	34.2	202.0	84.2	90.0	37.5
パパイヤ	0.5	0.12	0.1	0.0	0.2	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
その他の果実	1	0.365	1.2	0.4	0.4	0.1	0.9	0.3	1.7	0.6
ホップ	15	3.6	1.5	0.4	1.5	0.4	1.5	0.4	1.5	0.4
その他のスパイス	10	2.47	1.0	0.2	1.0	0.2	1.0	0.2	2.0	0.5
その他のハーブ	15	3.7	13.5	3.3	4.5	1.1	1.5	0.4	21.0	5.2
計			1744.5	566.2	850.9	271.2	1787.8	592.6	2118.5	708.2
ADI比(%)			18.6	6.0	30.3	9.7	18.0	6.0	22.2	7.4

TMDI: 理論最大1日摂取量 (Theoretical Maximum Daily Intake)

TMDI試算法: 基準値案×各食品の平均摂取量

EDI: 推定1日摂取量 (Estimated Daily Intake)

EDI試算法: 作物残留試験成績の平均値×各食品の平均摂取量

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてEDI試算をした。

しろうり及びまくわうりは、個別の作物残留試験がなく、参照可能な補正係数が得られなかったため、作物残留試験成績で得られた補正係数のうち最大値の2.0を基準値案に乗じた値を用いてEDI試算をした。

(参考)

これまでの経緯

平成13年	4月26日	初回農薬登録
平成16年	6月25日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：ほうれんそう及びこまつな）
平成16年	7月12日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成16年11月	4日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成16年	9月28日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成17年	4月27日	残留農薬基準告示
平成17年	6月1日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：かんきつ、非結球あぶらな科葉菜類等）
平成17年	6月14日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成18年	5月11日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成18年	5月30日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成18年11月	29日	残留農薬基準告示
平成19年	5月15日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：だいず、レタス等）
平成19年	5月22日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成19年	9月6日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成19年10月	23日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成20年	4月30日	残留農薬基準告示
平成21年	9月14日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：キャベツ及びはくさい）
平成21年10月	20日	インポートトレランス申請（にんじん及びパパイヤ）
平成21年10月	27日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成22年	3月18日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知

平成22年	9月14日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成23年	3月15日	残留農薬基準告示
平成22年	9月21日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：かぼちゃ）
平成22年	11月10日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成23年	7月21日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成23年	12月21日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成24年	12月28日	残留農薬基準告示
平成23年	10月27日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：はつかだいこん、はたけな）
平成24年	1月19日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成24年	3月13日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：こんにゃく）
平成24年	6月22日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成24年	10月30日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成25年	7月2日	残留農薬基準告示
平成24年	6月29日	インポートトレランス申請（ホップ）
平成24年	8月21日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成24年	12月10日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成25年	3月26日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成25年	10月22日	残留農薬基準告示
平成25年	2月4日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：こんにゃく及びズッキーニ）
平成25年	6月11日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成25年	7月29日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成25年	10月21日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

平成26年	8月	8日	残留農薬基準告示
平成25年	8月	5日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：水稻）
平成25年	11月	11日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成26年	1月	27日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成26年	7月	31日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成27年	2月	20日	残留農薬基準告示
平成27年	8月	24日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：日本なし）
平成28年	5月	25日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：すもも）
平成28年	8月	25日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：カリフラワー）
平成26年	12月	1日	インポートトレランス申請（たまねぎ及びにんにく）
平成28年	12月	13日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成29年	10月	17日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成30年	2月	7日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成30年	10月	18日	残留農薬基準告示
令和	元年	5月	14日 農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼(適用拡大：さといも)
令和	2年	10月	19日 厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和	3年	1月	12日 食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和	3年	5月	25日 薬事・食品衛生審議会へ諮問
令和	3年	7月	7日 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

● 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

- 穂山 浩 学校法人星薬科大学薬学部薬品分析化学研究室教授
石井 里枝 埼玉県衛生研究所副所長（兼）食品微生物検査室長
井之上 浩一 学校法人立命館立命館大学薬学部薬学科臨床分析化学研究室教授
大山 和俊 一般財団法人残留農薬研究所化学部長
折戸 謙介 学校法人麻布獣医学園理事（兼）麻布大学獣医学部生理学教授
加藤 くみ子 学校法人北里研究所北里大学薬学部分析化学教室教授
魏 民 公立大学法人大阪大阪市立大学大学院医学研究科
環境リスク評価学准教授
佐藤 洋 国立大学法人岩手大学農学部共同獣医学科比較薬理毒性学研究室教授
佐野 元彦 国立大学法人東京海洋大学学術研究院海洋生物資源学部門教授
須恵 雅之 学校法人東京農業大学応用生物科学部農芸化学科
生物有機化学研究室准教授
瀧本 秀美 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所
国立健康・栄養研究所栄養疫学・食育研究部長
中島 美紀 国立大学法人金沢大学ナノ生命科学研究所
薬物代謝安全性学研究室教授
永山 敏廣 学校法人明治薬科大学薬学部特任教授
根本 了 国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長
野田 隆志 一般社団法人日本植物防疫協会信頼性保証室付技術顧問
二村 睦子 日本生活協同組合連合会常務執行役員

(○：部会長)

答申（案）

シアゾファミド

食品名	残留基準値 ppm
米（玄米をいう。）	0.05
小麦	0.05
大豆	0.3
小豆類 ^{注1)}	0.1
ばれいしょ	0.05
さといも類（やつがしらを含む。）	0.01
こんにゃくいも	0.3
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.3
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	25
かぶ類の根	0.3
かぶ類の葉	20
クレソン	15
はくさい	15
キャベツ	2
芽キャベツ	2
ケール	15
こまつな	15
きょうな	15
チンゲンサイ	15
カリフラワー	2
ブロッコリー	2
その他のあぶらな科野菜 ^{注2)}	20
チコリ	10
エンダイブ	10
しゅんぎく	10
レタス（サラダ菜及びちしやを含む。）	10
その他のきく科野菜 ^{注3)}	10
たまねぎ	2
ねぎ（リーキを含む。）	6
にんにく	2
にら	6
わけぎ	6
その他のゆり科野菜 ^{注4)}	10
にんじん	0.09
みつば	10
トマト	2
ピーマン	1
なす	0.5
その他のなす科野菜 ^{注5)}	10

食品名	残留基準値 ppm
きゅうり（ガーキンを含む。）	0.7
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	0.7
しろうり	0.1
すいか（果皮を含む。）	0.6
メロン類果実（果皮を含む。）	0.8
まくわうり（果皮を含む。）	0.1
その他のうり科野菜 ^{注6)}	10
ほうれんそう	25
しょうが	3
未成熟いんげん	0.4
えだまめ	5
その他の野菜 ^{注7)}	10
みかん（外果皮を含む。）	2
なつみかんの果実全体	2
レモン	5
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	5
グレープフルーツ	5
ライム	5
その他のかんきつ類果実 ^{注8)}	5
日本なし	0.5
もも（果皮及び種子を含む。）	2
ネクタリン	1
すもも（プルーンを含む。）	0.2
いちご	0.7
ぶどう	10
パパイヤ	0.5
その他の果実 ^{注9)}	1
ホップ	15
その他のスパイス ^{注10)}	10
その他のハーブ ^{注11)}	15

- 注1) 「小豆類」には、いんげん、ささげ、サルタニ豆、サルタピア豆、バター豆、ペギア豆、ホワイ
ト豆、ライマ豆及びレンズ豆を含む。
- 注2) 「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類（ラディッシュを含
む。）の根、だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、ク
レソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、チンゲンサイ、カリフラ
ワー、ブロッコリー及びハーブ以外のものをいう。
- 注3) 「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、
チョコリ、エンダイブ、しゅんぎく、レタス（サラダ菜及びちしやを含む。）及びハーブ以外のものを
いう。
- 注4) 「その他のゆり科野菜」とは、ゆり科野菜のうち、たまねぎ、ねぎ（リーキを含む。）、にんに
く、にら、アスパラガス、わけぎ及びハーブ以外のものをいう。
- 注5) 「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをい
う。
- 注6) 「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり（ガーキンを含む。）、かぼちゃ
（スカッシュを含む。）、しろうり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。
- 注7) 「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科
野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょ
うが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをい
う。
- 注8) 「その他のかんきつ類果実」とは、かんきつ類果実のうち、みかん、なつみかん、なつみかんの
外果皮、なつみかんの果実全体、レモン、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）、グレープフル
ーツ、ライム及びスパイス以外のものをいう。
- 注9) 「その他の果実」とは、果実のうち、かんきつ類果実、りんご、日本なし、西洋なし、マルメ
ロ、びわ、もも、ネクタリン、あんず（アプリコットを含む。）、すもも（プルーンを含む。）、う
め、おうとう（チェリーを含む。）、ベリー類果実、ぶどう、かき、バナナ、キウイー、パパイヤ、
アボカド、パイナップル、グアバ、マンゴー、パッションフルーツ、なつめやし及びスパイス以外の
ものをいう。
- 注10) 「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうが
らし、パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）の果皮、ゆずの
果皮及びごまの種子以外のものをいう。
- 注11) 「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレソン、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリ
の茎及びセロリの葉以外のものをいう。